

艇友

<本号の内容>

- | | |
|------------|----------|
| 1 会長挨拶等 | 4 追悼 |
| 2 25年度総会報告 | 5 その他 |
| 3 ボート部紹介 | (連絡・依頼等) |
| ★トピックス | |

26年6月号



1 会長等挨拶



防衛大学校艇友会 会長挨拶

この度、松岡貞義前会長から艇友会会長を引き継ぎました21期(航空)の山崎剛美です。

本年5月に藤間功司様(防大ボート部部長)と三原邦夫先輩(艇友会元副会長)が他界されました。お二方がボート部及び艇友会に注いで頂きましたご尽力に感謝致しますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さてボート部におきましては、吉田会長時代から継承されている「新入生勧誘支援」と、監督、顧問及びボート部員による勧誘活動が奏功し、部員数が30名～40名を維持できるようになり、あとは5大学レガッタを始めとする各種大会での成績が期待されるところですが、防大の校友会活動を取り巻く環境が年々厳しくなる中で、現役学生諸君は、各種制約の中での活動を強いられているのが現状です。4月29日に実施された、5大学レガッタにおきましては、ストロークの揃った漕ぎを見せてくれており、成績(タイム)の向上が期待できていると感じています。

艇友会としましても、現役学生諸君が厳しい練習に打ち込み成果を上げることができるように、引き続き物心両面の支援を継続していきたいと考えております。ボート部保有艇も昨年度に全ての国有艇の用途廃止が決定し、私有艇のみとなりました。昨年度から新艇等の購入のための積立て資金へのご寄付をお願いしていますが、本年度も、本趣旨にご賛同を頂き、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。また、5大学レガッタ等の大会の応援も、現役諸君の励みになりますので、お誘い合いのうえ参加下さるようお願いいたします。

そのためにも、「艇友」や防大ボート部OB会ホームページが、現役学生諸君や艇友会の活動状況の紹介や、会員相互の情報共有に活用されることを期待しています。私は、新会長として松岡前会長の路線を継承しつつ、艇友会が現役学生諸君の活動をしっかり支援するとともに、明るく楽しい会として継続するために微力を尽くす所存でありますので、会員の皆様には、引き続き艇友会に対し絶大なご支援を頂きますよう重ねてお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

防衛大学校艇友会会長 山崎剛美



防衛大学校ボート部監督挨拶

監督2年目になります橋本(37F)(現配置:4大隊付指導教官)です。まずは、急逝されました故藤間ボート部長並びに故三原元監督に謹んで哀悼の意を表します。御二方のご生前のボート部への御厚情に感謝申し上げますとともに、今後の防大ボート部の益々の精強化を改めて誓うものであります。

現在の防大ボート部の近況を紹介しますと、1学年9名(内1名女子:ボート競技経験者(浦和一女高出身))の新入部員を含め総員37名です。4学年(59期)を中心に、8月のインカレにおいて、エイトでの決勝進出を目指し、平日のポンドでの練習及び土日の戸田合宿を精力的に実施しております。

昨年は、**新艇フォア購入**に際して**艇友会から多大なる支援**を頂きました。新艇により学生は俄然モチベーションが向上し、インカレでは敗者復活戦で敗退したものの、**6分台**のタイムで漕ぐことができました。**組次第では準決勝進出も十分狙えるタイム**だったため、非常に残念でした。敗者復活戦の組み合わせは、予選タイムが影響しますので、予選から力を出すことの重要性を改めて認識することになりました。

艇友会の皆様方には、平素から物心両面にわたり暖かいご支援を賜っているところですが、その期待に応え、**結果として表わすべく練習に励んでいく所存**です。引き続き皆様の多大なる応援、叱咤激励をいただきたく、学生に代わりお願い申し上げます。

防衛大学校ボート部監督 橋本 渉

2 25年度総会報告

次のとおり実施しました。細部は艇友会H/Pをご参照ください。

アドレス <http://ndahashirimizu.justhpbs.jp>

(1) 平成25年度事業報告

時 期	事 業 名	内 容	備 考
1月23日	理 事 会	・平成24年度会計監査 ・平成25年度事業・予算計画等打ち合わせ	川崎重工業(株) 本社会議室
2月9日	総会・懇親会	・平成24年度事業・決算等 ・平成25年度事業・予算計画等の承認	水交会 70名参加
3月24日	春合宿支援	支援金贈呈	戸田漕艇場
3月～12月	月例練習	毎月第1日曜日 五大学OBミドルとの合同練習参加	鶴見川漕艇場
4月	新入部員勧誘支援	支援金贈呈	防衛大学校
4月29日	五大学レガッタ	・OBレース参加 ・当番校(防大)支援	戸田漕艇場
7月12日	「艇友」発行	320通発送	
8月22日	夏合宿支援 インカレ等応援	・支援金贈呈及びレース応援 ・新艇贈呈式	戸田漕艇場
11月17日	紅葉レガッタ	レース参加	宮ヶ瀬湖
11月23日	五大学OBOG懇親会	講演会、懇親会へのOB・学生参加	東工大大岡山キャンパス 10名参加
12月1日	横浜市民ボートマラソン	OB・学生参加	鶴見川漕艇場

(2) 平成25年度会計決算報告

収 入 (円)		支 出 (円)				
1	前年度からの繰越	1,178,279	1	合宿支援	100,000	学生春・夏合宿
2	25年度年会費等	903,309	2	「艇友」発行費	46,170	総会報告等
			3	総会・懇親会支援費	156,290	
			4	新入生勧誘支援費	50,000	
			5	監督指導費	9,000	
			6	通信連絡費	19,680	
			7	HP運営費	10,000	
			8	雑費	69,500	東工大艇庫竣工祝等
			9	予備	0	
			10	新艇購入支援	435,050	フォア購入支援
	合 計	2,081,669	合 計	895,690		

繰り越し 1, 185, 979円

(3) 26年度事業計画

時期	事業名	内容	備考
1月23日	理事会	・平成25年度事業及び会計報告 ・平成26年度事業及び予算計画審議、総会打ち合わせ等	川崎重工業(株) 本社会議室
2月8日	総会・懇親会	・平成25年度事業・決算等 ・平成26年度事業・予算計画等の承認 ・新理事紹介等	水交会
3月～12月	月例練習、	・毎月第1日曜日予定 ・五大学OBミドル合同練習参加	鶴見川漕艇場
3月25日	春合宿支援	支援金贈呈	戸田漕艇場
4月	親入部員勧誘支援	支援金贈呈	防衛大学校
4月29日	五大学レガッタ	OBレース参加、応援	戸田漕艇場
4月～5月	理事会	「艇友」発行準備等	川崎重工業(株) 本社会議室
6月	「艇友」作成及び発行		防衛大学校
8月	夏合宿支援	支援金贈呈	戸田漕艇場
	インカレ等応援	広報・応援参加	戸田漕艇場
11月	紅葉レガッタ	レース参加	宮ヶ瀬湖
	五大学OB・OG懇親会	OB・学生参加、当番校(外語大)計画	場所別示
12月	横浜市民ボートマラソン	OB・学生参加	鶴見川漕艇場

(4) 26年度予算執行計画

収入(円)			支出(円)			
1	前年度からの繰越	1,185,979	1	合宿支援費	100,000	学生春・夏合宿
2	OB年会費・寄付	500,000	2	監督・コーチ指導料	50,000	
3	新艇購入積立金	300,000	3	新入生勧誘費	30,000	
4	新規入会金(8名)	80,000	4	総会・懇親会支援費	160,000	
			5	HP運営費	10,000	
			6	「艇友」発行費	50,000	
			7	通信連絡費	30,000	
			8	雑費	70,000	
			9	予備	80,000	
			10	新艇購入積立金	300,000	別管理
合計		2,065,979	合計		880,000	

繰り越し 1,185,979円

(5) 26年度役員

会長：山崎剛美(21期空)

副会長：泉三省(22期海)、槻木新二(24期海) 兼現役自衛官担当

理事：篠田芳明(13期陸) 名簿、HP担当、松下平治(18期陸) 総務担当

米村義一(21期陸) 会計担当、佐藤直人(28期海) 現役自衛官担当

監事：平木剛治(19期空) 監査担当

理事補佐：

氏名(期)	担当	氏名(期)	担当
齋藤拓也(35期空)	現役自衛官補佐	山野満男(47期空)	監督補佐、コーチ(正)
今村政弘(37期陸)		中濱直人(47期空)	監督補佐、コーチ(副)
石田浩太郎(44期海)		岩村圭一郎(52期海)	顧問、学生担当
出端雅春(35期空)	月例練習等	松本隆志(52期陸)	顧問、学生担当
中内秀治(48期空)	名簿補佐	上野裕稔(52期空)	顧問、総務・会計補佐

(6) その他

総会・懇親会（26年2月8日（土））は、東京地方は記録的な大雪となりましたが、**OB 23名**、学生33名に参加いただき実施しました。



(敬称略)5F大橋、5N服巻、5N宮永、5N矢野、7N石神、8N川島、8N矢島、**10A三原**、17N平山、18A松下、18N松岡、19F平木、19N宮浦、20A山本、20N大河戸21A米村、21F山崎、21N清水、21N宮崎、23A溝越、37F橋本、48F中内、52N岩村、他ボート部員学生

3 ボート部紹介（一部については総会報告を行いました。）

(1) 部員数 計 37名（26年6月1日現在）

4学年（59期）12名 3学年（60期）9名 2学年（61期）5名 1学年（62期）11名

(2) 平成25年の活動結果

4月 五大学レガッタ

フォア：**5着/5艇 7分58秒**

エイト：2着/4艇 **6分42秒**

※4月に2週間のポンド早朝練習により、主としてスタート力の強化向上

8月 夏合宿（8/5～25）

全日本大学選手権大会

フォア：予選 4着/5艇 **7分28秒** 敗復 2着/4艇 **6分53秒**

※敗復では、他の組なら十分に勝ち抜けるタイムであった。

オックスフォード盾

#1エイト：準決勝進出 4着/4艇 **6分47秒**

※1,500mまでは2位争いをしていましたが、ラストスパートで他の艇に及ばなかった。

10月 全日本新人選手権大会

フォア：予選 **5着/5艇 7分05秒** 敗復 **5着/5艇 8分05秒**

東日本新人選手権大会（1,000m）

フォア：予選 **3着/4艇 3分34秒**

12月 横浜市民ボートマラソン（鶴見川）

エイト1艇、フォア2艇参加

(3) 平成26年の活動実績及び予定

- 2月 マシンローイング大会（鶴見スポーツセンター）
- 3月 春合宿（3月22日～29日）
- 4月 五大学レガッタ（29日午後） 対校エイト、OBヤング・シニアエイト等出艇
- 6月 東日本大学選手権 男子シングルスカル3位入賞、男子エイト3位入賞
- 8月 夏合宿 全日本大学選手権大会 オックスフォード盾
- 10月 全日本新人選手権大会 東日本新人選手権大会
- 11月15日、16日 宮ヶ瀬紅葉レガッタ参加及び大会運営支援
- 12月 横浜市民ボートマラソン

4 追悼

故藤間部長、三原元副会長の生前のご功績に感謝申し上げ、哀悼の意を表します。以下に艇友会の代表者からの追悼を掲載させていただきます。

「ボート部長 藤間教授を悼む」

前ボート部長 鶴野省三（防大6期（陸））

”まさか”・・・それが悲報を受け取った時の思いであった。藤間先生が入院されていることを知ったのは、5大学レガッタ(4月29日)観戦中であった。翌朝防大に確かめたところ、「藤間教授は一日も早く職場復帰をしたいとの気持ちで療養しています。大丈夫です。」との香川教務部長の返答にひとまず安堵。すぐに藤間家に連絡を取ったが、連絡が取れないまま、5月2日夕橋本3佐からの悲報を聞くことになったのである。

藤間先生は私が定年退職に当たりボート部長をお願いした方である。(旧)土木学科に属し、私とは所属学科は異なっていたが、学内の教育改善委員会で共に汗を流した仲であった。当時藤間先生は若く魅力あふれる新進気鋭の助教授であった。学生にも慕われ、防大を背負って立つ逸材と衆目が認める存在であった。

私は委員会活動の中で、若い藤間先生の人柄に魅せられ、強い信頼感をもつようになった。そして定年後のボート部長をお願いするのは藤間先生しかいないと思うようになり、ボート部長を引き継いで頂く前段階としてボート部顧問をお願いした。藤間先生はボートの経験はないので、適当ではないのではないかと言われたが、ボート部長はボートの知識でやるものではない。部活動は防大の全人教育の重要な部分を担っている。それには藤間先生のように学生に素直に愛情を注げる人こそが適任であり、引き継いで頂きたいとお願いしたわけである。藤間先生は、その時本当に快く引き受けて下さった。

藤間先生は学生に対して真正面に向き合い心を開き、学生の心を引き付けることが出来る素晴らしい能力を持った方であった。私はその藤間先生にボート部の後事を託すことが出来たことを無上の幸せと感じたものである。

退官後はNPOを3団体立ち上げた関係で防大もボート部も振り返る余力はなかったが、何よりも藤間先生が部長をされているので安心しきっていた。それがこのような事態になっていたとは、悔やんでも悔やみきれない気持である。

藤間先生は私より20歳若く、ボート部は20年安泰と思っていた。それにも益して防大にとっても本当に大切な教授を失ったと思うと、無念でならない。

ご家族のお悲しみは如何ばかりかと思うと、お悔やみの言葉もない。しかし、ボート部またボート部OB会は藤間先生の奥様に末永く感謝の気持ちを持ち続けてほしいと思う。そのために老生も微力ながら余生を差し出したいと思う。

合掌

元艇友会会長 矢島寛三（防大8期（海））

平成26年5月24日（土）には、第7回全日本マスターズレガッタが群馬県館林市「城沼特設ポートコース」で開催の初日で、防衛大OBとしては5期（空）大橋先輩が五大学シニアで、私と16期（空）児玉君はJBC（日本ボートマンクラブ）で、10期（陸）三原君が宮ヶ瀬湖一葦会の夫々のエイトクルーの一員として参加していました。JBCと五大学シニアは24日11：54レースNo34（カテゴリー：H（70歳～74歳））で参戦し、三原君は24日12：58レースNo41（カテゴリー：G（65歳～69歳））の整調として参戦していました。

我々のレースが終わり沼岸で観戦していましたが、赤色の宮ヶ瀬湖クルーのユニフォームの艇が反対岸の救護所近くの桟橋に着いており、本部からは医者とAEDを乗せたボートが対岸に進んでいきました。最初は誰が倒れたのか分かりませんでしたでしたが、近くの宮ヶ瀬湖チームの村上さんに聞いたところ**三原君がゴール100m手前で倒れた**との一報を得ましたので大橋先輩に伝えました。

24日当日は宮ヶ瀬湖クルー事務局長立花氏の対処で、夕刻団塊号クルーの医者：折井先生に会ったので三原君の状況を聞いたところ、倒れてから対岸について処置まで4分かかっており回復は難しいのでは？とのことでした。

翌日25日9時半頃レース会場に着き、三原君が**25日02：00頃帰らぬ人**となったと聞き、児玉君は14期（空）吉田君、私は鶴野先輩に伝えました。

故三原邦夫君とは、私が艇友会会長時、副会長をして貰い、吉田艇友会会長時には監督と防衛大ボート部創立50周年事業の推進役員として、エイトの新艇購入・エンブレムのデザインと製作・ネクタイのデザインと製作・ユニフォームの製作を担当し非常に貢献されました。また、毎月の初日曜日を鶴見で漕ぐ会を計画・実施され何回となく一緒に漕いだことを思い出しては、貴重な人材を失ったものだと感慨深く哀悼の意を込め、ご冥福をお祈りしております。

また、宮ヶ瀬湖ボートクラブの設立当初から三原君は諸企画事業の推進役として活躍されており、宮ヶ瀬湖ボートクラブでも貴重な人材を失くしましたが、三原君の遺志をついで頑張るとのことです。

私の手元に三原君の翻訳による本が2冊あります。

①コックス席からの展望（1996年アトランタオリンピック：アメリカ男子エイトの物語）

スティーブン・セガロフ著

②WONDER CREW（1920年アントワープオリンピック大会優勝クルー・アメリカ海軍兵学校エイトの物語）上巻・下巻

また、US Rowing（Sculling、Drills: I・II・III、Sweep、Erg）、R-wing LibraryのDVDを三原君からコピーして貰っています。これらは故三原邦夫君の遺品として大事にいたします。

故三原邦夫君の前夜式・葬儀に参列しましたが、重ねて哀悼の意を込め、ご冥福をお祈りいたします。

合掌

5 その他

（1）会費納入のお願い

平成25年度は、会員の皆様のご協力によりまして運営資金が概ね順調に集まり、通常の活動、学生支援を行うことができ、学生を含め心より感謝申し上げます。

特に、会長からもお話がありましたように、昨年度から新艇購入の積立を新たに設定し、平成25年には早速、新艇（シェルフォア）購入の支援を行うことができました。ご賛同いただきました

方々には重ねて御礼申し上げます。

本積立につきましては、現在保有シェルエイトの1艇が取得19年目となる平成31年を目途に新艇購入の支援ができることを次回の目標と考えております。

年会費納入のお願いをしているところではありますが、なお、状況が許しご賛同をいただけますなら、何卒、本積立にもご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、年会費の収入状況を見ますと、平成25年はやや減少しておりますので、恐れ入りますが、同期、お知り合いの方にお声をかけていただきますようお願い申し上げます。

会計関連でご質問等ございましたら会計理事（21期米村：メールアドレス：solan_1222@yahoo.co.jp）までご連絡ください。

(2) 連絡網の整備

機関誌「艇友」の送付、総会・親睦会の案内、大会予定等をご連絡するため、連絡網を整備しています。異動された方、住所の変わられた方、又はその情報をお持ちの方はお手数ですが、名簿担当（13期 篠田 e-mail：y_shino920@ae.em-net.ne.jp）へご連絡下さい。特に現職の方や再就職された方は（転属・退職すると不明になってしまうので）必ず自宅のアドレスを教えてください。若い方は転属も多く、所在が掴みにくいので同期生相互に連絡して最低年に一度は代表が取り纏め連絡して下さい。また、HPで見るから不要等の理由で本誌の送付等を希望されない方もその旨ご連絡下さい。

***** (トピックス) *****

新艇フォアの納入(25年8月)

艇友会からのご支援をいただき、ボート部として新艇フォアを昨年夏のインカレ直前に納入いたしました。学生でネーミングを考案させたところ、「雷電 (RAIDEN)」に決定しました。インカレには納入したてのフォアでエントリーしましたが、タイム的には向上が認められました。コックス曰く「エンバツハ艇とは違う特性がある。違ったクセがある」とのことですが、学生のモチベーションも大いに高まったのは確かです。艇友会の皆様には今後も物心両面にわたる防大ボート部への御支援を重ねてお願い申し上げます。

ボート部監督 橋本 (37F)



第57回五大学レガッタ(26年4月)

天気予報では雨でしたが日頃の行いが良いため、パラパラと一時雨が降ったものの、雨に悩まされる天気ではなかったので、応援にも力が入りました。OBレースに参加したメンバーを含め、30名強の会員が戸田に集まりました。特に、3月に防大を卒業したばかりのOB(58期)4名を含め、50期台のOBが10名以上も集まってくれました。お蔭様で(おそらく初めてと思います)OBヤングクルーの平均年齢が30歳未満となり、見事優勝し、盛り上がる事が出来ました。このような成果は会員皆様のご尽力の賜物と認識しております。引き続き、艇友会活動にご理解とご支援をいただけますようお願いいたします。

また、毎月第1日曜日0930～1130まで鶴見川漕艇場で練習会を予定しておりますので、奮ってご参加いただけるようお願いします。ご案内は別途いたします。(練習終了後、昼食を兼ねた反省会も予定しております。)

出端(35F)

なお、防大ボート部は、4学年中心のエイトを出艇し、6分47秒で4位(1位:東工大6分34秒、2位:外語大6分39秒、3位:海洋大6分47秒)、でした。ほか、1学年新人KFは、2分56秒で3位(1位:外語大2分48秒)、女子Sスカルに経験者(浦和一女)の1学年が出艇し、10分00秒20で4位(1位:外語大、2位:海洋大、3位:筑波大)でした。

【シニアクルー】

C: 崎村52期 : S保泉26期 7: 中内48期 6: 児玉17期 5: 矢島8期 4: 宮浦19期
3: 中濱47期 2: 山崎21期 B: 三原10期



【ヤングクルー】

C: 長坂58期 : S藤田58期 7: 岩村52期 6: 松本52期 5: 浅間52期 4: 内田58期
3: 菊地57期 2: 松永56期 B: 井嶋58期

